2011年度

科目名	キャリア・カウンセリング				
担当教員	小西 宏幸				
配当	人社3			コード	43063
開期	前期	講時	木曜日3限	単位数	2
授業テーマ	職業指導や進路意思決定場面におけるカウンセリング心理学の知見の活用について考察します。				
目的と概要	心理学は基本的には個人の行動原理に関する学問です。そして、人間が公的な組織でさまざま活動を行うと、 多様な心理現象がつきまといます。この講座では、ライフサイクルにおける大きな要因である仕事と心理カウン セリングの関係性について学習します。				
成績評価法	試験(70%)+平常点(30%)平常点は、レポート提出などによって加味します。				
テキスト	渡辺三枝子、ハー著 「キャリア・カウンセリング入門」 ナカニシャ出版				
参考書	ディマティア他著「認知行動療法を学ぶビジネス教育:RET研修マニュアル」 文教大学出版事業部				
履修に当たっ ての注意・助言 /準備学習	この科目は、応用領域です。少なくとも「産業心理学」は履修済みであることが望ましいです。もちろん、カウンセリング関係の科目を履修中か習得済みであることが必要です。とくに「産業カウンセリング」と併せて履修することが望ましいといえます。 また、3回生以上の専門科目なので、他の応用心理学の基礎知識がまったくないと理解できません。 履修していなくても、個人差の心理学に関する領域、性格 (Personality) 心理学や発達心理学の学習は行っていることが重要です。				
講義計画					

全体的なガイダンス 第1回

- 第2回 キャリア・カウンセリングの担い手・心理学専門職としての資格の問題 第3回 キャリアカウンセリングの視点:特に、カウンセリング心理学の観点から 第4回 適性論におけるさまざまな心理アセスメント
- 第5回 進路指導と職業指導の概念:教育場面
- 第6回 キャリアカウンセリングの概念:産業・企業場面
- 第7回 個人と社会の狭間で:キャリアをどうとらえるか?
- 第8回 具体的問題:就職活動
- 第9回 具体的問題:転職や再就職の問題
- 第10回 キャリア・カウンセリング場面に生じやすい臨床的問題

- 第14回 キャリア行動に関する心理学
- 第15回 まとめ